

情報通信基盤整備推進補助金事業 事後評価

事業名	情報通信基盤整備推進事業		事業主体	利島村		
事業の概要	総事業費	128,080 千円	事業完了日	平成30年11月30日		
			補助対象事業費	110,682 千円		
	<p>【目的】 本村には、ADSLサービスを継続利用していたものの、光ファイバー網について未整備であったことから、本事業によりFTTH方式の超高速ブロードバンド基盤を整備する。また、整備した超高速ブロードバンド基盤を活用し、利島村が行う地域の情報化に係る取組等各種の振興又は整備に関する計画に記載のある情報通信基盤網整備の取組を推進する。村内全世帯に向け、光ファイバー網を敷設する。</p> <p>【概要】 東京都の事業で、超高速ブロードバンド網の整備を目的とし、平成30年度を目途に本村と本土の間を大島経由で接続する海底光ケーブルが敷設される計画がある。本村ではこの海底光ケーブルの敷設に合わせ、村内光ファイバー網を整備し、住民に対して超高速ブロードバンド網の提供を目指している。整備する光ファイバー網は、住民に対して超高速ブロードバンド網を整備するだけでなく、行政情報、防災情報を中心とした本村からの各種情報を提供するシステムとしても活用することを検討している。</p>					
(BB) インターネット	サービス開始日	令和2年3月25日				
	サービス形態	公設民営				
	契約先	〃				
			整備計画時の目標		実績	
			初年度	最終	令和2年末	令和4年末
	整備地域の世帯数	200	200	179	187	
	加入世帯数	200	200	102	163	
	加入率 (%)	100	100	57.0	87.2	
評価及び課題	<p>・高速データ通信需要はあるものの、平成29年度の台風通過に伴い、当時東京都が整備中であった海底光ファイバーが利島の陸揚げ部分において切断されてしまった事があり、そのためサービス開始が先延ばしとなった。その後海底光ファイバーの再接続が行われ、サービスが開始されたものの、住民の中には「再び回線が切れるのではないか」という心配からかADSLサービスの継続利用をする方もいて、光サービスの加入に結び付いていないと考えられる。</p> <p>2023年1月末でADSLサービスが終了したことから、今後の光ファイバー伝送路への乗り換えも増えると見込まれ、広報誌に掲載したり住民向け説明会を開催したりすることで積極的に周知していく。現在の未加入者からの加入を増やす事だけでなく、令和9年度末までに村営住宅の建設も予定されており（戸数未定）、新たな居住者に対しても説明を尽くし、加入促進していく。</p>					